

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成19年8月9日(2007.8.9)

【公開番号】特開2001-76178(P2001-76178A)

【公開日】平成13年3月23日(2001.3.23)

【出願番号】特願2000-190366(P2000-190366)

【国際特許分類】

G 06 T 15/70 (2006.01)

G 06 F 9/44 (2006.01)

【F I】

G 06 T 15/70 A

G 06 F 9/06 6 2 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月25日(2007.6.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】組立て手順を作成して表示する方法に於て、少なくとも1つの共通の識別番号を使って、複数個のソースからソース資料を検索する工程(12)と、該ソース資料から、装置並びに該装置の部分集成体の一連の画像を作成する工程(14)と、前記一連の画像を表示する工程(20)と、歩進的に前記一連の画像と対話する工程(16)と、を含むことを特徴とする前記方法。

【請求項2】更に、その後に遠隔の場所の再生システムで再生する為に、特定の一連の3D画像を作る工程(18)を含む請求項1記載の方法。

【請求項3】組立て手順を作成して表示する方法に於て、複数個のフレーズ・タイプに対する主テキスト・マニュアルのファイルを構文解析する工程(102)と、少なくとも1つのフレーズ・タイプの場所を含むリストを選択すると共に構築する工程(110)と、主テキスト・マニュアル・テキストをHTMLフォーマットに書き換える工程(116)と、前記主テキスト・マニュアル・テキスト内にある少なくとも1つのフレーズ・タイプの場所にHTMLタグを作成する工程(120)と、補助主テキスト・マニュアルのファイルを構文解析する工程(122)と、選択された補助テキストのフレーズ・タイプの翻訳テーブルを構築する工程(128)と、HTMLタグを用いて補助テキスト・マニュアルの前記ファイルのHTMLタグ版を作成する工程(120)と、選択されたフレーズ・タイプから導き出された通りに、選択されたフレーズ・タイプを組立てシーケンスの順に並べる工程と、選択されたフレーズに対する重複した参照を除く工程(112)と、翻訳されたフレーズを使うソース資料の検索が出来るように、前記翻訳テーブルに従って選択されたフレーズを翻訳する工程(114)と、検索されたソース資料のフレーズを使って、モデル記憶装置内にある適切な3Dモデルを見付ける工程(132)と、検索されたソース資料のフレーズを使って適切な支援用ディジタル画像を見付ける工程(134)と、を含むことを特徴とする前記方法。

【請求項4】前記フレーズ・タイプが、重要部品番号フレーズ、強調すべきフレーズ及び補助参照フレーズを含む請求項3記載の方法。

【請求項5】検索されたソース資料のフレーズが部品番号である請求項4記載の方法。

【請求項6】検索されたソース資料のフレーズを使って組立てシーケンスを作成する工程を含む請求項3記載の方法。

【請求項 7】 テキスト資料から可視的な組立て命令のシーケンスを作成して表示する装置に於て、前記テキスト資料から可視的な組立て命令を検索して作成するツール（14）と、前記可視的な組立て命令を3次元表示する表示装置（20）と、前記可視的な組立てシーケンスとのユーザの対話が出来るようにするユーザ・インターフェース（16）と、を有することを特徴とする前記装置。

【請求項 8】 前記ツールが汎用コンピュータの一部分で構成される請求項7記載の装置。

【請求項 9】 データ記憶装置を更に含んでおり、前記検索及び作成ツールは、前記ユーザ・インターフェース（16）を用いて、前記テキスト資料内の所定の部分から所定の重要参照識別子を選択して、前記データ記憶装置内にある支援用のグラフ及びテキスト資料を突き止めると共に、検索された資料に基づいて可視的な組立て命令のシーケンスを作成し、該シーケンスは前記所定の重要参照識別子によって決定された順序になっている請求項7記載の装置。

【請求項 10】 テキスト資料から可視的な組立て命令のシーケンスを作成して表示する装置に於て、前記テキスト資料から可視的な組立て命令を検索して作成する手段（14）と、前記可視的な組立て命令を表示する表示手段（20）と、該表示手段に前記作成された組立て命令をインターフェース接続する手段（16）と、を有することを特徴とする前記装置。